



石川県 健民運動

かわら版

柳葉ヒマワリ 10月5日 輪島市

毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～

鼓動 石川県造園緑化建設協会・その運営と抱負
(一社)石川県造園緑化建設協会 会長 岸 省三

特集 太陽と緑に親しむ健民祭・第47回健康クラブ交歓大会
健康づくりの推進

太陽と緑に親しむ健民祭・各大会紹介

ふるさとづくりの推進

ふるさとのツバメ総調査作品コンクール・入賞作品紹介

子ども・若者活動の推進

平成26年度少年の主張石川県大会

健民運動活動紹介・奨励コーナー

第23回石川県民スポーツ・レクリエーション祭

1 1月の健民運動カレンダー

「あいむ」だより

薫風 金沢日曜野球連盟 理事長 吉江 英一

[illegible]

参加者募集 絵本センターのつどい

石川県造園緑化建設協会・その運営と抱負

協会を運営するにあたって、最も重視するのは会員が持つそれぞれの特徴となる高い技術といった強みを出し合うこと。そうなれば、協会として一つのものを作り上げていく上で大きな武器になる。協会全員で一緒にやるという気持ちを持ちながら、会員各社が勉強し、お互いに良いところを出し合い、見習うようにしていくことで協会全体のレベルアップを図りたいと考えている。

協会では、現在、金沢、加賀、能登の3地域に分けてそれぞれの地域にふさわしい環境緑化事業に取り組んでいる。金沢支部では、将来に向けた都市公園のあり方として、防災施設を備えた都市公園のリニューアル事業に取り組み、市内の玉川公園をモデルとして、金沢市の改修計画に合わせ、防災施設の設置を提案し、昨年度から整備し、将来に向けての市民の防災意識向上に支援していきたいと考えている。加賀支部では、石川県や地元市と協定を結び、沿道の環境美化活動を行う*石川県版道路アドプトに取り組み、行政と市民の橋渡し役となり緑の大切さを訴えている。能登支部では、世界農業遺産の認定を機に認定区域の一部で、植樹等による里山再生に向け、ノトギリシマツツジの植栽などを進めている。

造園や緑化といった私たちの仕事が少なくなる中で、ただ仕事を待つのではなく、どう自分たちで創造していくかが大きな課題である。造園という仕事は本来、人々の生活に潤いを与えるような緑である公園や庭をどう提供するか、お客さんにとって何が役立つのかについて知恵を絞り提案することが大切と考えている。さらに、自分の仕事や協会の活動だけではなく、地域の商工会やボランティア活動などにも積極的に参加することが大切で、それが新たな仕事へのチャンスへつながる。

そのためには、まず仕事が好きになること。仕事に前向きでないとお客さんに良いものを提供できない。私は天職と思いこの仕事を楽しんでここまで来た。会社の若手後継者や若手社員は、自分の仕事を前向きに楽しむくらいになってほしいと大いに期待している。



※ 石川県版道路アドプト

良好な沿道景観を創出するため、平成22年に県が創設した制度で、地域の道路美化活動団体や活動を支援するサポーター、そして行政が連携して取り組むものです。アドプト制度とは、1985年米国のテキサス州で始まった制度で、道路沿いなどの公共スペースを「養子」に見立て、住民や民間団体などが「親」となって、清掃や緑化活動などを実施する仕組みのことです。

特集

太陽と緑に親しむ健民祭

第47回 健康クラブ交歓大会

いしかわ総合スポーツセンター

県内各地から 2,003人 が参加



台風19号一過の10月14日(火)、いしかわ総合スポーツセンター(金沢市)において、太陽と緑に親しむ健民祭の最後を飾る「石川県健康クラブ交歓大会」が開催されました。9時30分から、加賀健康クラブの82名を先頭に堂々の入場行進を行い、38の健康クラブから参加した2,003名がメインアリーナ一っぱいに整列しました。

開会式は国歌斉唱に始まり、田川修身会長が「若々しく元気な皆さんには今日の大会を大いに楽しんでいただきたい。」と開会挨拶され、ご公務の谷本正憲本部長に代わって竹中博康副知事が、「皆さんには、長寿社会における健康づくりのお手本となってほしい。」と参加した皆さんを激励されました。次に、開催地金沢市の越田理恵保健局長が市長の歓迎の言葉を代読されました。また、今回の健康クラブ推進功労者表彰では41名が受賞され、代表して富来健康クラブの深見そのゑさんが田川会長から表彰状と記念品を贈られました。謝辞は鶴来チェリークラブの井上喜美子さん。続く準備運動では最初に株田馥先生の指揮で「柔」と「365歩のマーチ」を全員歌唱し、小倉紀代子先生他のご指導で「健民さわやか体操」を行いました。次いで、参加者を加賀・能登の約千人ずつ2グループに分け、太田章子先生のご指導でリズムダンス「365歩のマーチ」を踊りました。11時から「クラブ発表」に移り、最初に津幡町健康クラブの皆さんが、新沼謙治作詞作曲の「ふるさとは今もかわらず」をダンスで優雅に発表されたのに続いて、参加した健康クラブが練習を重ねてきた演技を次々に披露し、若々しく元気いっぱいの発表を繰り広げました。



田川会長の開会挨拶



竹中副知事の励ましの言葉



受賞者代表の深見そのゑさん



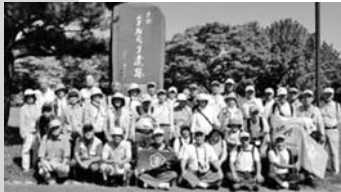
健康クラブ推進功労者表彰受賞者の41名の皆さん

健康づくりの推進

9・10月に実施された「太陽と緑に親しむ健民祭」各大会紹介

9月23日(火・祝)

健民歩こう大会(健民祭ウォーク)



当日は会員など約80人が参加して10時に西部緑地公園を出発。新保本町のチカモリ遺跡まで、約7kmの往復コースで元気にウォーキングを楽しみました。

健民ゲートボール大会



西部緑地公園陸上競技場では総合開会式に続き、約150人が参加して、10時20分から6コートで男女各赤と青のグループに分かれて晴天の下、熱戦を展開しました。

健民ペタンク交流大会



総合開会式終了後、西部緑地公園投てき場の芝生で10時10分から競技が開始され、22チーム70人が参加。優勝したのは志賀町大念寺Bチームの皆さんでした。

健民マレットゴルフ大会



専光寺ふれあいの森ゴルフ広場を会場に90人が参加して12時から熱戦がスタートしました。男子の部での優勝は金沢市の浦川勝也さん、女子の部の優勝は同じく金沢市の木谷育子さんでした。

9月25日(木)

リズムダンス講習会



かほく市の河北台健民体育館ではリズムダンス講習会が開催されて約210人が参加し、「ラブ」「明日は明日」などの曲で、手足の動かし方などリズムダンスの基本動作の研修を行いました。

10月12日(日)

おはようサイクリング石川健民大会



10時に保育園の年長さんから87歳のまでの約120人が参加して大豆田をスタートした一行は、五郎島で芋掘りを楽しむなど、約28kmのコースで好天の秋を満喫しました。

マラソンに挑戦する会2014



3年目となった今年の「マラソンに挑戦する会」には751人が参加し、体力に応じて5kmからフルマラソンまでの5コースに楽しく挑戦しました。

健民グラウンド・ゴルフ大会



西部緑地公園補助競技場では10時から520人が参加して大会が開催され、谷本本部長が始球式で腕前を披露されました。最高齢は清水勇三さん95歳でした。

ニュースポーツ体験コーナー



西部緑地公園投てき場では、県レクリエーション協会がストラックアウトやラダーゲッターなどのニュースポーツを楽しむコーナーを設置。約30人が参加して楽しみました。

9月23日(火・祝) 27(土)・28(日)

石川県スポーツ少年団サッカー交流大会



朝9時、安原スポーツ広場多目的グラウンドなど3会場で約640人が参加して熱戦が繰り広げられました。優勝は金沢市の「額サッカー少年団」でした。

10月5日(日)

健民野球大会



6時からの早朝野球選手権は羽咋市のC-MAXが高桑美術印刷を破り初優勝しました。午後からは金沢日曜野球連盟選手権第1目の試合が行われ5チームが準々決勝に進出しました。

10月13日(月・祝)

健民オリエンテーリング大会



台風19号の接近で小雨の降る中、59人が参加して競技が実施されました。雨のため参加者は少なめでしたが、午前10時に一斉スタートして森林公園の自然を大いに楽しみました。

ふるさとづくりの推進

第43回ふるさとのツバメ総調査

作品コンクール・入賞作品紹介

5月の愛鳥週間の期間に実施している「ふるさとのツバメ総調査」にあわせて、毎年実施している「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール」で、「感想文の部」には県内の40校から昨年を170点上回る739点の応募があり、「記録・観察作品の部」には、昨年より7校多い19校から応募がありました。本部では9月4日から、各部門の審査にあたり、このほど「感想文の部」10点、「記録・観察作品の部」3点の入賞作品を決定しました。



最優秀賞

穴水町立向洋小学校6年 中山 紘斗さんの感想文

ツバメ調査

ぼくは、ツバメ調査をして、ぼくの地域の人達は本当にツバメを歓迎していて、心配してくれて、心からツバメを愛しているんだなと思いました。

去年ツバメが来ていた家の人は、「去年は来ていたのに今年は来てないね、残念だな。」と、ツバメが来てくれればいいのになというように言っていました。ほかに、カラスにツバメの巣がやられてしまっていた家の人は「カラスに、やられてかわいそうだね。この家には、もう戻ってこないかもしれない、悲しいな。」と言ってツバメのことを心から心配してくれていたので調査隊員のぼくも、ここに毎年、巣を作っていたのに、カラスなんかにならわれるなんてぼくからしたら、大切に何年も使っていた家をいきなり壊されたような気持ちになりました。それと反対にツバメが毎年来ていて、今年も家の中に巣がある家の人は、「毎年来てくれていて、本当にうれしいよ。また来年も来てほしいな。」と言っていました。その家は、納屋の扉の上に、ツバメが通れるくらいを開けて、ツバメだけが出入りできるようにしていました。



穴水町立向洋小学校6年 中山紘斗さん

そして、その家では、納屋で2匹の犬を飼っているにもかかわらず、ツバメが巣を作っていました。犬がいることで、ネコなどから守ってくれているという安心感をツバメにもたらしているからだと思いました。

最後に、ぼくはツバメがとても好きです。小さくて赤と黒という色がかわいいからです。これからは、日本中の人達というよりも世界中の人達にツバメのことを好きになってほしいなど心から思います。ツバメ調査は本当にいいことだし、すばらしい石川県の伝統になっていけばいいなと思いました。

○ 感想文の部入賞者

最優秀賞	穴水町立向洋小学校6年	中山 紘斗
優秀賞	金沢市立額小学校6年	蜂須賀 美妃
優秀賞	白山市立松任小学校6年	大竹 菜月
優秀賞	志賀町立加茂小学校6年	酒井 梨緒
優秀賞	穴水町立向洋小学校6年	浜中 優実
佳作	珠洲市立若山小学校6年	北 唯花
佳作	志賀町立加茂小学校6年	新明 愛綾
佳作	穴水町立向洋小学校6年	諸 駿太郎
佳作	穴水町立向洋小学校6年	宮谷内 美月希
佳作	能登町立松波小学校5年	小原 未郷

○ 記録・観察作品の部入賞者

最優秀賞	白山市立松任小学校「ツバメ新聞とお宿地図」
優秀賞	津幡町立津幡小学校「ツバメ新聞」
佳作	加賀市立山代小学校「ツバメのお宿地図」

○ ふるさとのツバメ総調査作品コンクール表彰式 ふるさとのツバメ総調査パネル展

表彰式 / 日時 11月16日(日) 11時～
入賞作品等の展示 11月12日～24日
石川県庁19階展望ロビー

子ども・若者活動の推進

平成26年度 **少年の主張** 石川県大会 開催



入賞者と審査員による記念撮影



最優秀賞を受賞した左藤寿久理さんの発表



激励の挨拶をする正木明大会委員長



審査員の先生方



講評する才鷹課参事

8月24日の能登地区大会を皮切りに、加賀地区、金沢市、石川中央地区の県内4地区の予選を勝ち抜いた16名による「少年の主張石川県大会」が、9月27日(土)石川県青少年総合研修センターで開催されました。当日は13時30分からの開会式を前に会場ホールを下見したり、演壇に立ってリハーサルを行う意欲的な発表者の姿が見られました。16名の発表者は応援に駆けつけた先生や家族の方など多数の聴衆を前に、学校生活や日常生活での体験から考えたことやこれからの生き方などについて発表し、聴く者に深い感銘を与えてくれました。また、真摯で前向きな提案や品位ある話しぶり、巧みな展開、身振りを交えた表現力豊かな発表は、聴く者にふると石川や日本の未来を支える若者に対する大きな期待や信頼を新たにすることができました。

最後に県教育委員会学校指導課の才鷹一博課参事が講評に立たれ、「中学生の皆さんがどう考え、行動しようとしているかがよく伝わり、お互いに共感できたと思います。」と高く評価され、また、「より良い社会や生活の実現に向けて、この大会での貴重な体験を生かし、自らの言動に自信と責任を持ち、それぞれの夢や希望の実現に向かってほしい。」と大きな期待を述べられました。県大会の最優秀賞は「青年よ、自由という名のもとに責任を持て」を発表した七尾市立七尾東部中学校3年左藤寿久理さん。優秀賞は七尾市立御祓中学校2年の山本日菜子さんと加賀市立山中中学校3年の後藤春香さんの2名でした。最優秀賞の左藤寿久理さんは石川県代表として11月9日(日)に東京で開催される「少年の主張全国大会」(国立青少年教育振興機構主催)に出場候補者として推薦されました。



優秀賞を受賞した山本日菜子さんの発表



同じく優秀賞の後藤春香さんの発表

最優秀賞 七尾東部中学校3年 左藤寿久理さんの 主張

■青年よ、自由という名のもとに責任を持て

私は今着ている制服に不満がある。スカートや靴下の長さ、ネクタイの高さなど校則はいちいちダサイ。夏に着るカットソーシャツは汗の吸収性が悪い。冬のセーラー服は寒く、伸縮性がとぼしいので動きにくい。

加えて衝撃的だったことは、30年前の母と全く同じ形だということである。つまり、何十年も前から変化していないのだ。

服の流行の変化はとどまることを知らないのに我らがセーラー服は時が止まっているかのようである。

3年生の私がこんなふうに語ってしまうと下級生に悪影響を及ぼし、先生方に怒られてしまいそうではあるが、ここではっきりつけ加えておきたい。私は不満があるからといって校則違反をするつもりなど全くないし、実はセーラー服を非常に可愛いと思っている。先程述べた不満を差し引いたとしても、確かにセーラー服は可愛い。

今の年齢の私達にしか着こなせない特別な代物である。もしかしたらセーラー服とは、流行を永遠に追う必要のない完成されたデザインなのかもしれない。であるなら何十年も前から同じであることには納得がいく。

では、校則はどうであろうか。その基本的な内容はこれもまた何十年と変わっていないようである。

そもそも制服は私達に協調性を持たせ、この学校の一員として団結し行動しようとするエネルギーを生み出す力があるように思われる。先日行われた陸上競技大会。七尾市にあるどの中学校の生徒も体操服姿で気持ちを一つにし、すばらしい応援合戦を繰り広げた。

スカートや靴下の長さが必ずしもそのエネルギーを奪い去るとは思えない。がしかし、未熟な私達学生が学校という枠の中で同じ方向に向かって進むとするには何らかの基準が必要であることもうなずける。

七尾東部卒業の母に昔の校則について尋ねてみたら、こんなことを話してくれた。中学の卒業式を終えたばかりの春休み、先生に会いに学校へ行こうとして母は「制服じゃなくていいんだ。」と改めて思い自由を感じた。そして何を着ればいいのか考えているうちに不安になってしまったという。あの不安の正体が一体何だったのかはもう少し大人になってからわかったそうだ。

校則も制服も窮屈だけど、その枠の中にいれば何も考えなくてもよかった。ではその枠をすっかりはずされてしまった時、未熟な私達は果たして自分の力だけで正しい道を選択できるのだろうか。自由になるということは、自分が決めていかなければならないということでもあり、そして、その結果に責任を負う覚悟がいる。

そのためにも今は与えられた校則を自分から全うしてみようと決めている。私がセーラー服を卒業した時、自由という名の責任に挑む人生の旅がきっと始まるから。



健民運動活動紹介・奨励コーナー

9月14日 いしかわキャンプフェスティバル



川魚のゴリ捕り体験



ロープ渡りで冒険

9月14日(日)石川県キャンプ協会が主催して、白山市吉野の瀬波川キャンプ場において、いしかわキャンプフェスティバルが開催されました。瀬波川周辺の秋の自然を満喫し、日頃の疲れを癒やし、心身のリフレッシュと健康の増進の機会とするとともに家族や友人との絆を更に深めることを目的としたフェスティバルには、幼児から大人まで約120人が参加しました。当日は天候にも恵まれ、川でのゴリ捕りや川あそびも楽しむことができました。地元の方々や星稜大学野外スポーツ部、県レクリエーション協会、いしかわ自然体験支援隊の皆さんのご支援もあり、ロープ渡りやブランコ遊び、竹を芯にしたバームクーヘン作り、ストーンアートなど珍しい遊びを沢山経験できました。このほかテント設営や火起こし、足湯など盛りだくさんのお楽しみが準備され、子どもたちから大人まで大満足の楽しい一日を過ごしました。

9月15日 台湾・深美小学校 の ツバメ調査結果報告会 参加



5年生の発表



校長と余氏との意見交換会



ツバメ新聞を見る児童



6年生の発表



小学校周辺でのツバメ調査

本年3月、本部が実施する「ふるさとのツバメ総調査」を台湾へ紹介したところ、基隆市と台中市で石川と同様のツバメ調査が実施されることになりました。9月15日に深美国民小学(小学校)を訪問し調査結果の報告会に参加しました。

深美小の5、6年生等約200人が講堂に集まる中、5年生の代表4名、6年生の代表5名の報告の後、石川県のツバメ調査の概要を話しました。報告会の後には、陳立國校長先生と台湾野鳥の会の余維道氏を交えて意見交換会を行いました。陳校長からは、「ツバメ調査に取り組んだことで、ふるさとを愛する気持ちが強くなった。今後も継続していきたい。」また、余氏からは「人間の暮らしを調査することができる良い方法である。」と調査後の感想が語られました。当日は、石川県で7月に開催された「小学生ツバメ国際キャンプ」の参加者が作成したツバメ新聞を講堂入口に掲示し深美小の児童に見てもらいました。報告会終了後、小学校の調査地でツバメの巣の観察を行いました。訪台は(公財)日本野鳥の会(東京)が実施する「ツバメを守ろう国際交流ボランティアプログラム『グリーンホリデー in 台湾』」の客員講師として招聘され、日本各地から参加した23名と行動を共にしました。

参加しましょう！ 第23回 石川県民スポーツ・レクリエーション祭

◇ 11月以降の開催市・期日・大会名・会場・主管団体

開催市町	期日	大会名	会場	主管団体
金沢市	11月 9日(日)	ココナ発表会	金沢市総合体育館	NPO法人ココナスポーツクラブ
	11月16日(日)	ぽっと参加スポーツ大会2014in杜の里	杜の里小学校	NPO法人クラブぽっと
	12月23日(火・祝)	Join-usファミリーバドミントン交流大会	いしかわ総合スポーツセンター	NPO法人かなざわ総合スポーツクラブ
小松市	11月 2日(日)	国府校下一周駅伝大会	国府地区体育館	国府校下体育協会
かほく市	2月22日(日)	クラブパレットカップキッズフットサル大会	宇ノ気体育館	NPO法人クラブパレット
白山市	11月15日(土)	スポーツでリフレッシュ	白山郷公園体育館	白山市スポーツ推進委員協議会

11月の健民運動カレンダー

H26.10.24現在

11/ 8 (土)

第30回・北國夏の読書感想文・感想画コンクール2014
会場：北國新聞会館20階ホール（金沢市）
主催：北國新聞社

11/12 (水)
26 (水)

那谷校下「特別ヨガ健康体操教室」
会場：那谷町会館（小松市）
主催：メイプルレディース

11/12 (水)
～16 (日)

花いっぱいコンクール写真展
会場：石川県庁19階展望ロビー（金沢市）
主催：石川県健民運動推進本部

11/12 (水)
～24 (月・振)

ふるさとのツバメ総調査パネル展、「家庭の日」川柳コンクール入賞作品展
会場：石川県庁19階展望ロビー（金沢市）
主催：石川県健民運動推進本部

11/16 (日)

11時～〈ふるさとのツバメ総調査・「家庭の日」川柳コンクール表彰式〉
13時～〈花いっぱいのつどい〉花いっぱいコンクール表彰式・花壇の発表
会場：石川県庁19階展望ロビー（金沢市）
主催：石川県健民運動推進本部

11/16 (日)

第34回北陸放送・協会長杯石川県ゲートボール選手権大会
兼第30回全国選抜ゲートボール大会石川県大会
会場：こまつドーム（小松市）
主催：石川県ゲートボール協会 北陸放送

11/20 (木)
21 (金)

中日旗争奪第26回中部日本ゲートボール選手権大会
会場：こまつドーム（小松市）
主催：中部日本ゲートボール選手権大会実行委員会 中日新聞社

11/22 (土)

第26回石川県スポーツ少年団柔道交流大会
会場：石川県立武道館（金沢市）
主催：石川県スポーツ少年団

11/26 (水)

平成26年度 絵本センターのつどい
会場：津幡町文化会館 シグナス（津幡町）
主催：石川県健民運動推進本部 協力：津幡町立図書館

11/29 (土)

第43回石川県スポーツ少年団卓球交流大会
会場：いしかわ総合スポーツセンター（金沢市）
主催：石川県スポーツ少年団

11/30 (日)

第26回石川県スポーツ少年団バドミントン交流大会
会場：医王山スポーツセンター（金沢市）
主催：石川県スポーツ少年団

11/30 (日)

「あなた」が「出来る」「持続可能な社会」づくりワークショップ
会場：石川県青少年総合研修センター（金沢市）
主催：NPO法人いしかわ自然体験支援隊

「あいむ」だより



* 収集物（10月分）*

＜使用済み切手など＞ 長寿社会課、監理課、営繕課、建築住宅課、県民生活課、計量検定所
人事課福利厚生室、匿名の方の 計8件。

ご協力ありがとうございました。ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがき
につきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。
ぜひお寄せください。

お知らせ

平成26年度 石川県NPO起業実践講座開催事業 -つながり広がる石川の種を育てよう- 11月の予定

社会をちょっと良くするアイデアや行動力など、この講座を通じて学び合う場を提供
します。仲間を増やし、事例を学び合い、アイデアを磨き、企画をつくり、イベントを
運営し、記録を残すスキルを学ぶ場を石川県内で16回（金沢、加賀、能登）開催します。

【その6】～ 思わず手に取りたくなるチラシ作成のコツを身につけよう！～

会 場	加 賀 会 場	金 沢 会 場	能 登 会 場
日 時	11月16日(日) 10時	11月20日(木) 19時	11月23日(日) 10時
場 所	小松まちづくり 交流センター 小松市小寺町 乙80-1	石川県NPO活動 支援センター 金沢市香林坊 2-4-30/ラモーダ7F	羽咋市勤労者総合 福祉センター 羽咋市千里浜町 カ1-20
定 員	20名	20名	20名
備 考	・各会場とも約2時間です。 ・参加費は無料です。 主催：(特)百万石ワールドカフェ		

《詳細情報・参加のお問合せ・お申込み》下記のURL、またはE-mailでお申込みください。

席に余裕がある場合は、当日参加も受け付けます。(特)百万石ワールドカフェ

http://www.hyakumangoku.org/ facebook: http://www.facebook.com/100m.worldcafe

E-mail: support@hyakumangoku.org（お名前、団体に所属されている場合は団体名）

税金についても詳しく知りたいNPO法人のためのNPO会計セミナー(上級編) 開催のお知らせ

・NPO法人の会計について詳しく知りたい。・経理を担当しているが税金は難しくてわからない。・法人の
事業規模が大きくなるにつれて会計が複雑になってきた... このような悩みを抱えている法人の方を対象
に「会計」に関するセミナーを開催します。会計について詳しく知りたいという方はぜひご参加ください。

日 時	平成26年11月4日(火) 13:00～16:00	参加料	無 料
場 所	石川県庁11階1105会議室(金沢市鞍月1-1)	定 員	100人
申込方法	電話・FAX・メールにて、法人名、氏名、電話番号をお知らせください。		

Tel 076-223-9558 FAX 076-223-9559 E-mail npo@pref.ishikawa.lg.jp

石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモーダ7階

TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559 http://www.ishikawa-npo.jp

会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！（会議室使用料 無料）

お問合せ、ご予約は上記「石川県NPO活動支援センター（あいむ）」ま
で、お気軽にどうぞ。

香林坊地下駐車場をご利用ください。駐車料金を助成しています。



薫 風

金沢日曜野球連盟
理事長 吉江 英一

「理事長、開幕式の後、市民球場の周り掃除させてください。」当連盟に所属する一選手から突然の申し出が、今年の開幕式（３月２３日）の前々日にありました。

話を聞くと、１９７８年（昭和５３年）生まれで、第７８回全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）を目指していた石川県内の球児たちが集い、何か社会に貢献できることがないかと昨年暮れ「^{ななはちかい}７８会」という任意団体を結成し、その手始めに球場の周りを掃除したいということでした。

当日は「７８会」のメンバー以外の選手も参加し、２０人くらいで清掃活動を行いました。「７８会」は、現在、金沢市を中心に約５０名のメンバーがいるそうですが、今後、加賀地区、能登地区にも声かけし、輪を広げていきたいということでした。その後「７８会」は、少年野球の後援もし、副賞の提供などを行っているそうです。

前述の一選手は、甲子園球児で、当連盟に所属した当時は、威勢のいい野球小僧でしたが、現在はプレーにも人間的にも円熟味を増したようです。

野球をしている若者が、このような取り組みをしていることを聞くと大変うれしい気持ちになります。これも野球で培ったスポーツマンシップによるもののように思われます。

いつの時代も「今の若いもんは」という言葉を聞きますが、結局、どの時代もしっかりした若者がいて、世の中は秩序を保ちながら流れていくように思います。

今回の「７８会」の活動を通じ、「世の中捨てたもんでない」と実感した次第です。



参加者募集

絵本センターのつどい

11月26日



石川県健民運動推進本部では、子どもたちによい本を読ませたい、絵本を通して親子のふれあいの時間を持ってほしい、そんな願いから保育園・所、幼稚園、地域子ども文庫などを「絵本センター」に指定して、「絵本ホームライブラリー運動」をすすめており、毎年「絵本センターのつどい」を開催しています。

今年の「つどい」は、11月26日(水)、津幡町文化会館シグナスにおいて絵本との感動的な出会いをテーマとした映画「**じんじん**」の鑑賞会を開催します。

映画「**じんじん**」は、俳優大地康雄さんが、数年前に訪れた北海道の剣淵での出来事がきっかけで作られました。剣淵では住民が仕事の合間をぬって「絵本の館」に顔を出し、子どもたちに読み聞かせをしており、子どもたちは目を輝かせながら聞き入り、腹をかかえて笑い転げ、時には目にいっぱい涙を浮かべて聴いていました。大地さんはこの姿に触れ、身体が震えるほどの感動に包まれ、「絵本の力」と「親子の絆」を描いた映画を作りたいと考え、その想いに共感する人々が集まって誕生したのがこの映画です。



参加者募集

：どなたでも参加できます。(無料)

日時

：平成26年11月26日(水)

13時～15時30分(開場12時30分)

場所

：津幡町文化会館シグナス 津幡町北中条3-1

託児申込

：無料。事前予約が必要です。(先着10名様)
11月17日(月)までにお電話で！

お問合せ

：石川県健民運動推進本部 下沢・上山
TEL: (076) 225-1366 FAX: (076) 225-1363
E-mail: kenmin-t@pref.ishikawa.lg.jp

毎月7日は「健康の日」です。

～歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です

～家族とのふれあいを大切にしましょう～

発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1366
石川県県民交流課内健民運動推進本部 FAX 076-225-1363

インターネット

健民運動

検索



QRコード

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

twitter @ kenmin_undou